

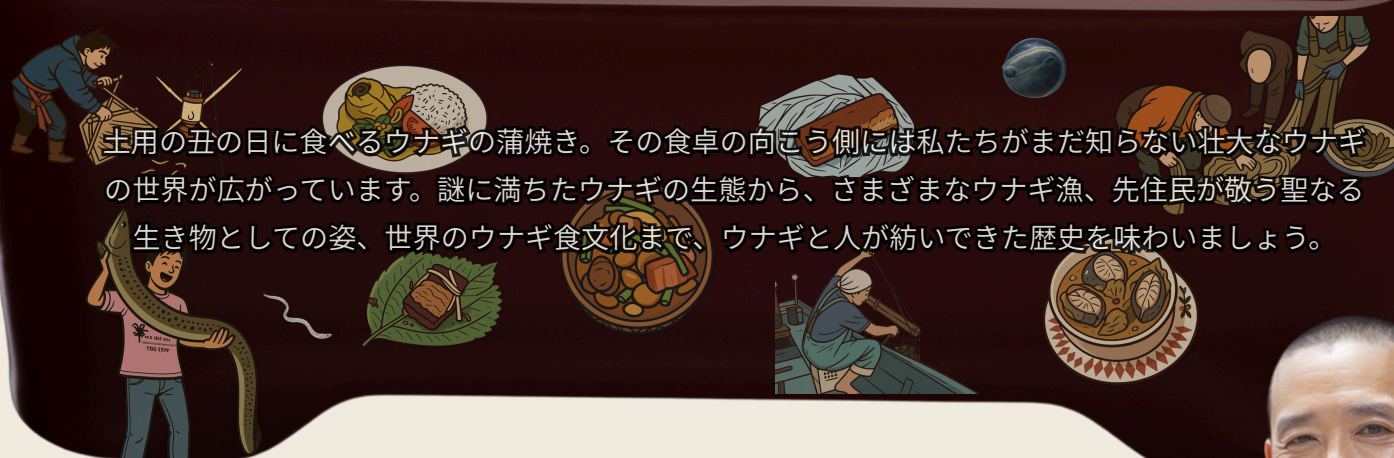
土用の丑

どようのうし

蒲焼きの向こう側へ

の目に語りたくなる ウナギ学

～日本と世界のウナギ 消費と文化～



土用の丑の日に食べるウナギの蒲焼き。その食卓の向こう側には私たちがまだ知らない壮大なウナギの世界が広がっています。謎に満ちたウナギの生態から、さまざまなウナギ漁、先住民が敬う聖なる生き物としての姿、世界のウナギ食文化まで、ウナギと人が紡いできた歴史を味わいましょう。

日時

7月25日 土 14時～16時

会場

サイピア1階科学体験・学習広場

定員

50名／要事前申込

参加費

無料

対象

どなたでも

中央大学法学部教授

講師 海部 健三 先生

ウナギの保全と持続的利用を目指す保全生態学者。国際自然保護連合 (IUCN) ウナギ属魚類専門家グループメンバーとして、ウナギのレッドリスト評価に参加。主な著書として、『結局、ウナギは食べていいのか問題』(岩波書店)、『日本のウナギ 生態・文化・保全と図鑑』(山と溪谷社) など。「ダーウィンが来た! 都会で発見! 絶滅危惧種ウナギ」(NHK)に出演。

お問合せ
(先着順)
申込フォーム

岡山県生涯学習センター 人と科学の未来館サイピア
右記QRコードを読みこんで申込フォームよりお申し込みください。またはお電話 (086-251-9752) でも可能。

